

三 勲 小 だ よ り

令和2年2月6日 (木)

<全校朝会の話>

今日、2月3日は「節分」です。「節分」は「季節を分ける」と書きます。この日を境に、暦の上では季節が冬から春へと変わります。今、学校の掲示板の近くには梅がとてもきれいに咲いています。「ろうばい」という、黄色いろうそくのろうのような梅も咲いていて、どちらもとてもいい香りがします。校長先生の家近くには菜の花がたくさん咲いています。今年の冬はいつもの冬より暖かくて、少し難しい言葉で「暖冬」だと言われていますね。

ところで、みなさんは暖かいのと寒いのとどちらが好きですか？暖かい方が好きな人は、きっと外でしっかり遊ぶことができるし、風邪をひきにくいと考えているかもしれませんね。何人かの人に尋ねてみても、暖かい方が好きな人が多くいました。

でも、世の中には、冬が暖かいので困っている人もいます。さて、どんな人でしょうか？次の写真をみましょう。

① スキー場の雪不足

これは、暖かいので雪が降らなくて、いつもならたっぷり雪があるはずのスキー場に雪がないという写真です。ところどころに土が見えているでしょう。スキー場やその近くの店やホテルの人はお客さんが来ないので、とても困っています。

② 冬野菜の値下がり

これは、お店です。暖かいので、ハクサイやキャベツ、ネギ、ダイコンなどの野菜がよく育ち、たくさんでき過ぎたため、値段がだんだん安くなっているそうです。買って食べる人は、安くなるとうれしいですが、野菜を売る農家の人にとっては、もうけが少なくなって困っているそうで、中には作っても売らない人もいます。

③ 冬物の販売低下

これも野菜といっしょです。暖かいので、冬の服やスタッドレスタイヤ、灯油など冬にたくさん売っていたものが売れなくなっているのです。

これらの写真を見ると、寒いのが苦手な人にとっては、この冬の暖かさはうれしいですが、世の中にはその暖かさのために、つらい思いや悲しい思いをしている人もたくさんいることが分かります。

物事にはよいと思っても、見方を変えるとそうでもなかったりかえってよくないことだったりする場合があります。道徳の時間にも主人公はこう思っても相手の人はこんな気持ちになっているのだなということを考えることがあるでしょう。皆さん一人一人がこのことを知っておくと、自分はいくらでも悲しい思いをしている人がいるかもしれないなど、自分以外の人の気持ちに目を向けやすくなります。本当に優しい人、楽しいことが好きな人というのは、そのように立場が違う人のことも考えられるのです。

さて、三学期もあと二か月になりましたね。6年生にとってはあと29日学校に来ると、いよいよ卒業です。残り少ない一日一日を大切にしましょう。

1年生から6年生の人全員が、今の学年の終わりまで、周りの人のことも考えながら、みんな仲よく元気に過ごしてほしいと思っています。

今日は、「暖冬」にちなんだお話をしました。



